

独立行政法人国立病院機構

宇多野病院の看護

R8年作成 宇多野病院看護部



独立行政法人国立病院機構

宇多野病院



病院の概要

所在地：京都市右京区鳴滝音戸山町8
昭和22年（1947年）国立宇多野療養所として発足

病床数

310床

病院の特色

慢性期病院・セイフティネット
神経筋難病の基幹病院



セーフティネットとしての役割とは？

国立病院機構は、他の設置主体ではアプローチ困難な医療（民間では体制の整備困難、経験不足、不採算等）に対し、全国的なグループネットワークを利用して、医療提供体制を充実させる役割があります。



神経筋・難病



筋ジストロフィー

重症心身障害

結核

心神喪失者医療観察法



病院の機能・標榜

●国立病院機構の神経筋疾患の基幹施設

関西脳神経センター

パーキンソン病センター

関西てんかんセンター

筋ジストロフィー・筋疾患医療

脳神経外科、免疫性疾患専門施設

●京都府の難病拠点病院

●地域の一般診療および救急病院



神経筋難病看護は
宇多野にお任せと言える
看護を目指したい！



宇多野病院で診療している主な病気（治療）

脳神経内科

- ・筋ジストロフィー
- ・パーキンソン病
- ・筋萎縮性側索硬化症
- ・視神経脊髄炎
- ・パーキンソン症候群
- ・重症筋無力症
- ・多発性硬化症
- ・てんかん
- ・認知症

リウマチ科

- ・関節リウマチ等
- ・自己免疫疾患

整形外科

- ・骨 、関節、脊椎の周手術期、リハビリ



神経筋難病患者さんの状況

●確立した治療がない

●進行性であり不可逆的

●長期療養

●身体障害を伴う

●精神障害を伴うことがある



●疾患の理解が得られにくい

- ・疾患の受容過程の支援
- ・症状コントロール
- ・残存機能を維持、活かす援助
- ・意思決定の支援

～多くの喪失体験を経験する患者さんを支える～



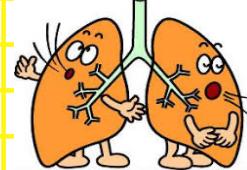
神経・筋難病の主な症状

排尿障害
便秘
脂漏
起立性低血圧

自律神経
障害

運動障害

振戻
筋固縮
無動
姿勢反射障害



むせる
息が苦しい



精神障害

抑うつ状態
幻覚・妄想
認知症



視覚障害

物が二重に
見える



声が小さくなる
文字が小さくなる
言葉が出にくい



宇多野病院の理念

病院理念

私達は、病む人の立場に立ち、**人間愛に根ざした心安らぐ医療**を提供し、患者さんの社会・家庭復帰・自立を支援します

看護部理念

私たちは、人間愛を基本として患者さんの人権を護り、豊かで充実した日々が送れるよう、**患者さんと「共に」歩む看護**を目指します

神経筋難病の患者さんの
**長い療養を共に歩み
生きるを支える**





看護単位

6病棟・手術室・外来・訪問看護ステーション

1 病棟

小児神経科
脳神経内科
(筋ジストロフィー)
医療的ケア児

・・・・・
*療養介護事業
*短期療養介護

サービス

⇒児童指導員・保育士
療養介助員(介護福祉士)と協働する

2・3・2

4 病棟

脳神経内科
発作科

・・・・・・・・

- ・診断のための検査
- ・薬剤の調整
- ・リハビリテーション
- ・在宅復帰支援
- ・終末期ケア

3・1 病棟

整形外科
リウマチ科
脳神経内科
一般内科

・・・・・・・・

- ・整形外科周術期看護
- ・緊急入院(救急搬送)の受け入れ
- ・医療度の高い患者の受け入れ(血漿交換や免疫治療など)
- ・内科的治療

3・3 病棟

回復期
リハビリテーション

・・・・・・・・
・脳血管疾患、整形外科術後、廃用症候群

・リハビリテーションを中心とした社会復帰、在宅復帰を支援する

神経・筋難病の看護 (宇多野病院で経験できる看護)



循環・呼吸のフィジカルアセスメント

薬物療法の管理

残存機能を活かす・維持する
リハビリテーション・転倒予防

嚥下機能の維持・誤嚥予防

呼吸訓練・呼吸の管理（人工呼吸管理）

排泄の援助

栄養管理
(食事介助・経管栄養療法)

コミュニケーションの工夫

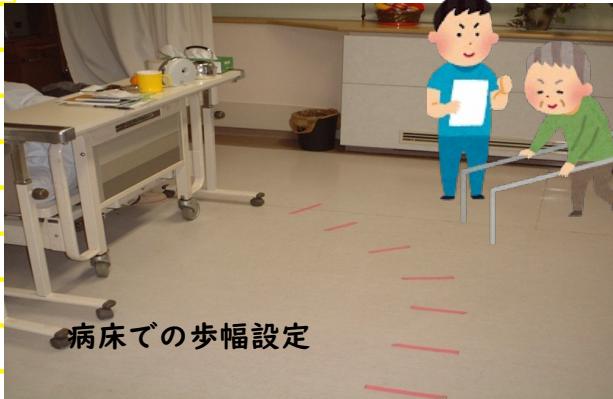
在宅復帰への支援

意思決定支援

在宅看護（訪問看護）

その人が病気を受け止め、どのように生きたいか「自分らしく生きる」ための支援

残存機能を維持しながら彩りある生活を



それは、人工呼吸管理、ベッド上での生活となっても・・・



見ていただきありがとうございました。

THANK YOU!

